

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第11号 令和3年1月25日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

遊びの大切さ



校長 堀田 稔

地域の皆様・清水小にご協力いただいています皆様・保護者の皆様
「新年あけましておめでとうございます。今年も清水小学校の子ども達、
そして、教職員にご支援賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします」

例年になく大雪に見舞われた苫小牧ですが、雪が大好きな子ども達は、雪を楽しみながらも、元気に笑顔で登校してくれています。変異株など心配は尽きませんが、コロナ流行前の行事や体験活動が多くできることを願って、健康と安全を第一に考え、教育活動を進めていきたいと考えています。

子ども達に話したことがあります。以前アメリカ大陸のド真ん中あたりに3年ほど暮らしていたことがあります。沈む夕日を見ながら、「あの太陽を日本の人達は初日の出で拝んでいるね。」などと話をしながら国の違いを感じていたのを思い出します。

学力の違い

その国々では「学力」も大切ですが人間には社会情緒スキルなどの「+α」も大切な力であると考えられています。このスキルの大半はコミュニケーションの力や発想力、創造力などで、基準を無理に作らないと点数には表せません。しかも評価者自身の能力によって評価がずれることがあり、点数に表すにはとても難しいものでもあります。この「+α」が大学入試に影響するくらい大切に教育されていることを知りました。アメリカの有名大学では日本のような学力テストが満点でも、学力の点数が合格点の2割にしかならず、不合格になっているという話を聞いたことがありました。

遊びの大切さ

コミュニケーション能力や様々な力は「子供の頃の遊び」が関係していると言われていいます。また、仕事のできないビジネスパーソンの特徴として「遊び」がない。とよく言われています。「かくれんぼ遊び」一つとっても、鬼になると、どこに隠れているのか、何人いるのか、戻る距離など、空間を考えて遊びを行います。また、木に登ったり、高い建物から風景を見たりして、上からの感覚をつかみます。この遊びで得た感覚は数学の図形を上から見たり、距離を測ったりする部分で「こう描いたらいい」「ここを削ったらいい」など問題等を解くための発想力につながっていくと言われていいます。

上記は子どもの能力を伸ばす「ほんの一部」でしかありませんが「正解のない」友達との遊びや自然の中での遊びが「コミュニケーション能力」を伸ばし「頭の柔らかさ」を育てています。考えていないことが起きた時にどう行動したか、遊びを自分たちで考えたり、ルールを考えたり、より楽しく、より良くする工夫が、行動力や創造力を育てています。

学習はもちろんですが、教室や校外に出た体験を多く積みせながら、社会に出ても困らない、多くの能力を身につけることができるようにしていきたいと考えています。

本年も清水小学校へのご理解とご参画をよろしくお願いいたします。